

第1回「南っこフェスティバル」開催報告

主催：鳳南校区連合こども会

共催：鳳南小学校PTA・鳳南小学校

1. はじめに

6月22日(日)午後1時30分より、鳳南小学校で「南っこフェスティバル」を開催した。この行事は、鳳南校区連合こども会、鳳南小学校PTA、鳳南小学校が協力して作りあげた新しい地域活動のひとつである。

こどもの育成には「学校」「家庭」「地域」が協力して推進することが重要であり、そのため堺市では、①PTA教育振興事業、②こども会育成事業の2つの事業が2本柱として推進されている。

地域でこどもを育成する体制としては「こども会活動」があるが、時代の流れの中で、地域住民の繋がりが弱くなり、こども会への加入率が年々低下している。その原因は色々あると思われるが、その一つに「親やこども達が地域の中で繋がる機会が減少」していることが挙げられる。

そこで今回、こども達や親の繋がりを強くしていくために、連合こども会が企画・立案し、PTAと小学校の協力を得て、この行事の開催を実現することができた。以下に、行事の内容と当日の状況について報告する。

2. 企画・運営における課題と解決策

2.1 開催の日程

地域行事は大人がお休みである土日祝が基本となる。しかし、今回の行事はPTAおよび小学校との共催であるので、休日の開催では先生方に休日出勤を強いることになる。そこで、学校の休日行事である「日曜参観」にあわせて開催することにした。保護者は午前中にこども達の参観を行い、午後からこども達と一緒に遊ぶ、という企画である。

参観は午前9時から11時で、その後5年生は「臨海学校の説明」があるため、昼食時間にも配慮して「南っこフェスティバル」は午後1時30分からの開始とした。終了時間については、学校からの要請で「午後4時までには全員下校させる」必要性から、午後3時30分終了とした。

2.2 広報の方法

今回の行事は初めての開催となるため、より多くのご家庭にどのように連絡するかが課題となった。そこで連絡方法として、①学校からの案内、②自治会への周知、について検討した。

学校からご家庭に案内文を配付するために、学校長の承認のもと、PTAと連合こども会からの開催案内を作成し、全校生徒に案内プリントを配布、参加希望者は参加申込書を担任の先生に提出して頂くことにした。

地域自治会に対しては、自治連合会の会合で行事の説明を行い、理解と協力を求めた。

2.3 傷害保険の加入

行事において最も心配な事は、こども達を始めとする参加者の怪我や病気である。特に暑い季節でもあるため熱中症には留意する必要がある。

主催者やお世話して頂く方々が安心して活動するには、傷害保険への加入が大切となる。今回は、1日行事を対象としたボランティア保険に加入することにした。

2.4 お世話役の確保

今回企画した行事をスムーズに運営するには、約40名のお世話役が必要となる。そこで、5つの単位子ども会から7名選出して頂くこととし、不足人員は連合役員でまかなうことにした。なお、単位の子ども会から来て頂くお世話役の方々は、小学生の保護者となるため、午前中の参観が終了してから引き続いて午後の当行事のお世話をするようになるので、帰宅して昼食する余裕がない。そこで、学校側との協議の結果、理科室を開放して頂いて昼食場所とすることにした。

3. 行事内容

室外での催し：ストラックアウト、スリースロー、ボーリング

室内での催し：将棋、オセロ、まちがいさがし



ゲームを楽しむ子ども達



まちがい探しに取り組む親子



将棋・オセロで真剣な対戦



堺市西区のキャラクター「ニッシー」も応援

3. おわりに

当日は雨天のため体育館と教室での開催となったが、総勢300名の参加者により、このイベントは大いに盛り上がった。今後は、この行事を継続していくと共に、地域の子ども達にとってより良い行事となるように発展させていかなければならない。

鳳南校区連合子ども会は、子ども会に入会している子ども達だけでなく、鳳南小学校に所属する全ての子ども達が地域の中で健全に育っていけるよう、今後も様々な取組を行っていきたいと考えている。

(文責：鳳南校区連合子ども会育成会 南側晃一)